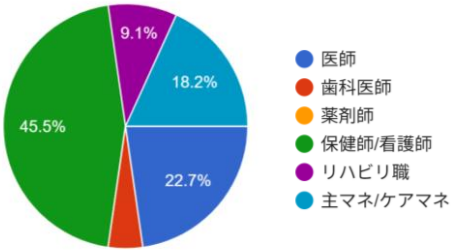
令和8年度　保土ケ谷区疾患別医療･介護連携事業「心疾患」多職種連携研修

「心疾患の3大管理」アンケート結果

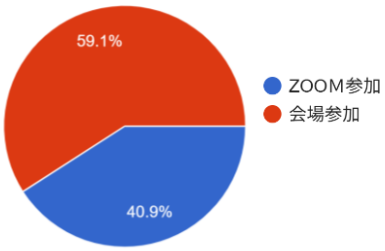
開催：令和8年10月16日(金)18：30～20：00

参加者：40名（内関係者5名）　回答者22名　回答率62.8%

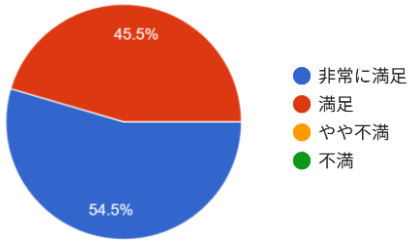
職種



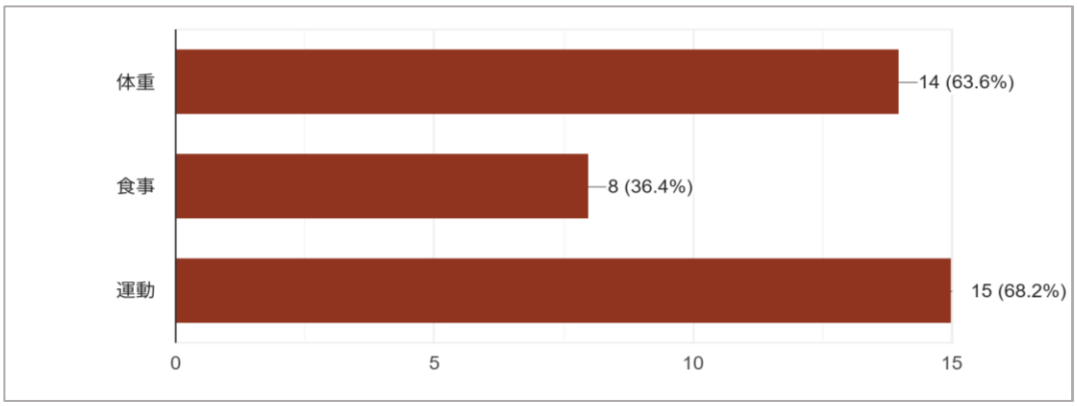
参加方法



心疾患研修の満足度を教えてください



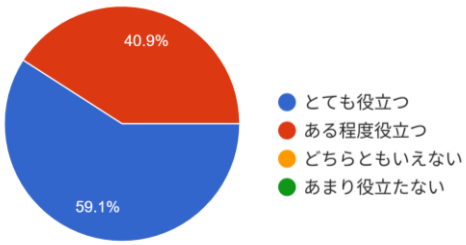
体重、食事、運動について特に参考になったと思うものを教えてください



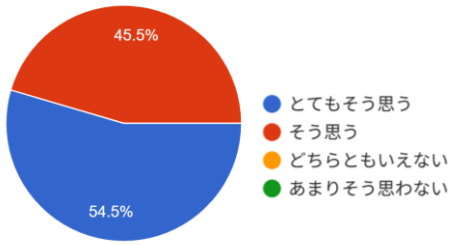
上記の回答で、具体的にどんなことが参考になりましたか？

- 体重減少も心不全の悪化のサインになることを知った（同様1件）
- 日常生活動作の負荷が適切な運動負荷であること。その上で利用者が望む場合に、ボルグスケール、トークテストを通じて負荷のかけ過ぎに注意する。 食事管理について、退院時に在宅では塩分制限などが多少緩くなることを想定していることがわかった。厳密すぎる塩分制限から食欲低下を招き、結果心不全が増悪するリスク、低ナトリウム血症リスクあることがわかり、しっかり食べて飲んで、薬を飲むことを大事にしていきたい。 その上で体重の増加が著しい時は早めに医師に繋ぎ、薬剤調整が大切とわかった。
- 体重減少も注意しなければならないこと
- 食べることの大切さと、管理ばかりではない関わりについて
- 在宅でコントロールできない場合、再入院率が高くなる
- 筋肉量を知るために、立ち上がり5回、話をしながら6分歩くなど、具体的に教えてもらえたので良かった
- 家事をするだけでも運動になるということ
- 食べる支援が大事だと言うこと
- 運動の評価の仕方（同様１件）
- PT、OTの方の、実際の対応や方法が参考になりました（同様１件）

今後の支援に役立つと感じましたか？



今後も心疾患をテーマにした研修に参加したいと思いますか



研修の感想やご意見を一言お願いします。

- 昨年体調不良で参加出来なかったので今回zoomで参加できて良かったです。とても勉強になりました。
- 心不全は、早いうちにから在宅でのフォローアップが必要だと思います。最初に診断されたときから訪問看護の介入を検討していただきたいです。
- 多職種の観点での関わり方を学び、勉強になりました
- 多職種で、様々な意見や考え方があることがわかりました。
- 多職種と気軽に話せて意見交換ができてよかったです。テーマを決めて交流会というのも楽しいですね。
- ディスカッションが多く、それぞれの立場からの意見が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。